

《担当者名》 道信 良子 <michinor@sapmed.ac.jp>

【概要】

人間の生殖と出産、生殖補助医療について、日本と世界の事例をもとに検討する。生殖・出産・医療は、当該社会の文化と深くかかわり、婚姻や家族のあり方、子育てや子どもの社会的位置づけ、妊娠・出産にかかわる医療のあり方や患者との関係などによって多様な様相を示す。近年の医療技術の進歩により、生殖補助医療も著しい発展を遂げ、子どもを望む人たちに希望をもたらしている。その一方で、妊娠・出産が人の手によって操作できるようになることに対する慎重な意見もあり、子どものいのち、家族の形成、医療の範囲などについて時間をかけて考えることを要請する社会の動きもある。当事者の女性にとっても生殖補助医療は必ず成功するものではなく、身体的、経済的な負担をとめない、無事妊娠、出産しても親子関係をめぐる複雑な問題が生じることがある。このように、人間の生殖と出産、生殖補助医療の発展は、人間とは何か、子どもを産むとはどういうことか、個人や集団が健康に幸せに生きることはどういうことかについてあらためて考える機会を与えている。

【学修目標】

人間の生殖と出産、生殖補助医療をめぐる社会、文化、倫理的課題を説明できる。
人間の生殖と出産、生殖補助医療の社会・文化的多様性を、国内外の事例に即して説明できる。
人間の生殖と出産、生殖補助医療をテーマに、人間のいのちや健康について考察することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	生殖補助医療をめぐる社会、文化、倫理的課題	授業内容:人間の生殖と出産、生殖補助医療をめぐる社会、文化、倫理的課題について配布資料をもとに議論する。学習課題:事前配布資料を読む。	道信 良子
3) 4	生殖補助医療の文化的多様性 - 日本と世界の事例	授業内容: 人間の生殖と出産、生殖補助医療の社会・文化的多様性を、国内外の事例に即して検討する。学習課題:事前配布資料を読む。	道信 良子
5) 6	生殖補助医療の発展と人間のいのち・健康	授業内容: 人間の生殖と出産、生殖補助医療をテーマに、人間のいのちや健康について考察する。学習課題:事前配布資料を読む。	道信 良子
7) 8	生殖医療文化論、総括	授業内容:生殖医療文化論のまとめの発表を行う。学習課題:発表の準備、課題レポートに取り組む。	道信 良子

【評価方法】

講読のプレゼンテーション(40%)、討議への参加(30%)及びレポート(30%)を総合評価する。

【教科書】

その都度プリントを配付する。

【参考書】

その都度プリントを配付する。

【学修の準備】

事前に配付するプリントを読んで授業に参加すること。